
**株式会社ソケッツ
業績予想の修正に関する補足資料**

2012年3月期 第2四半期累計期間

2011年10月14日

メディアビジネスにおける既存サービスの拡張及びMSDB(メディアサービスデータベース)関連ビジネスの利益率の向上や販売管理費の効率的な執行により、期初計画を上回る見込みとなりました。

(単位:百万円)

	前回発表 (4月27日)	今回発表 (10月14日)
売上高	1,080	1,089
営業利益	70	100
経常利益	70	100
四半期純利益	35	53

Q1： 通期計画の見通しについて教えてください。

A1： 現時点で期初計画から変更はございません。

当社は、中期的に当社の強みであるメディアサービスに関するデータベースとストリーミングサービスの仕組みを活かしたサービスの利用者数の拡大が、直接的に収益の拡大に貢献するビジネスモデルへシフトするチャレンジを前下期より始めております。

この成長戦略への投資としてストリーミングサービスシステムへの投資およびEC、SNSなど他社サービスとの連携を容易とするデータベースのインターフェース開発に注力することから今上期利益率は前期より低下する傾向にあります。

これらの試みの短期的な成果の予測が現時点ではつきづらいこともあり、期初計画からの変更はございません。

なお、当社データベースを活用した新しい提供先として朝日新聞社、カルチュア・コンビニエンス・クラブおよびテレビ東京とのサービスも順次開始しております。 <http://www.sockets.co.jp/ir/news.html>

Q2: 前期と比較してサービスライン別の状況について教えてください。

A2: メディアビジネスに関しては、対前年比101%の見込みとなります。前年同期においてはAndroid関連の大型の開発案件がありました。今上期においては、大型の開発案件はなかったものの既存サービスの伸長により前年並みの売上高となっております。

コンテンツビジネスに関しては、スマートフォンサービスへのリソース集中のためフィーチャーフォン向けの有料サービスの統廃合を進め、前年同期から20サイト廃止しております。その結果、対前年比は71%の見込みとなります。

※本資料における予想数値は、発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

お問い合わせ先：

株式会社ソケット

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目1番12号

担当：経営企画管理本部

Tel:03-5785-5518 Fax:03-5785-5517

E-mail:ir@sockets.co.jp